

オードリーは1929年、ベルギーのブリュッセルで、イギリス人で銀行家だった父とオランダ貴族の血を引く母との間に生まれた国籍はイギリス。10歳の時に両親が離婚するが、母と共にオランダのアルンヘムに移り住み、そこで

少女時代を過ごす。1948年にはバレエを学ぶためイギリスに渡り、ロンドンで数本の映画に出演した後、1951年のプロードウェイ舞台作品『ジジ』で主役を演じている。

（1953）のスクリーンテストを受けた時、「ジジ」の舞台で高い評価は受けたものの、映画女優としてはほぼ大

人には等しく、アン王女役は大受賞する。同作品中では、お忍びで城下を出たアン王女がカフエで、アメリカ人の新聞記者を演じるグレゴリー・ペックたちにすみられ、初めてたばこを吸うシーンがあるが、実際のオードリーはあるが、実際のオードリーはこの時すでに、たばこには慣れ親しんでいた。

彼女の伝記等によれば、第二次世界大戦でドイツ軍に占領されたオランダが、能年齢は18歳に引き上げられており、2014年まで

1945年5月、町にやつて来た兵士達が吸うたばこの匂いに自由の匂いがした！と

オードリーが暮らしていたアルンヘムは、「遠すぎた橋」とい

う題名で戦争映画にもなった

16歳の誕生日の翌日、5月5日

は16歳から可能だった。

オードリーは、過酷だった戦争（ちなみに能年齢は18歳に引き上げら

れているが、2014年まで

は16歳から可能だった。

オードリーは、現在のオランダの喫煙可

能年齢は18歳に引き上げら

れているが、2014年まで

は16歳から可能だった。